

質問しつもん

まちづくりや暮らしに関する制度など、市のあらゆる事業、方針について議員が質問する中で、主張・提言・指摘します。
市の重要な施策の決定を、この本会議で行っています。

6月定例会は個人質問のみです。質問時間は答弁とあわせて40分です。

三田市議会会議録 検索
三田市議会インターネット中継 検索



新政みらい

北本 節代議員



消防 消防団の運営と報酬の実情は

議員 消防団が消防ホース等の装備品を一部負担しているが、市が負担すべきではないか。

また、団員への報酬や手当は個人支給されるべきでは。

市 装備品は市が直接購入

現在は各分団が市からの交付金で装備品等を購入しているが、交付金のみでの運営は厳しいので、この仕組みを改め市が直接購入する。

報酬は個人支給であるが、分団が全額または一部徴収を行っているところもあり、運用の改善を求めている。手当は分団支給しているが、来年度を目的に消防団と協議の上、個人支給する。(仲田消防長)

他の質問 ● 上下水道事業の経営戦略について ● 子育て支援と虐待防止について



*交付金：国や地方公共団体が特定の目的を持って団体等に交付する援助資金。

日本共産党三田市議団

國永 紀子議員



産業 小規模企業振興条例の制定を

議員 小規模企業の振興のため平成26年に小規模企業振興基本法が制定され、従業員5人以下を「小企業者」とし、はじめて施策の中心に位置付けられた。

市においても地域経済の循環を図る上で小規模企業振興条例の制定が必要と考えるが。

市 「(仮称)三田市地域経済活性化条例」の制定を検討

地域産業の活性化を総合的かつ計画的に推進する「(仮称)三田市地域経済活性化条例」の制定を考えており、中小企業や小規模企業振興に係る条例の制定については、その中で包括的に検討する。(森市長)

他の質問 ● 介護サービスの充実について



*小規模企業振興基本法：小規模企業の振興について、基本原則、基本方針等を定め、国及び地方公共団体の責務等を明らかにし、小規模企業の振興に関する施策を推進し、国民経済の健全な発展及び国民生活の向上を図ることを目的とし制定された法律。

新政みらい

中田 哲議員



医療 訪問診療を行う医療機関の需要・供給の現状

議員 高齢化の進行により在宅で療養する高齢者の増加が予測される。訪問診療に対応する医療機関の数は足りているか。今後は医師の不足や、地域偏在も予測されるが今後の見通しは。

市 兵庫県保健医療計画に基づき体制確保に努める

在宅療養支援診療所の登録は、現在市内で15医療機関。人口あたりの比較では、県水準と同等、国の水準をやや上回る。将来的には対応可能な医療機関の不足も予測されることから、医師会等とも連携し、今後の在宅医療提供体制確保に努める。(森市長)

他の質問 ● 学校のあり方について ● 公共施設マネジメントについて

市民の会

檜田 充議員



公共交通 バス停留所の安全対策について

議員 えるむプラザ前・センチュリープラザ前バス停留所は通行量の多い車道に停車する形状の停留所であるため、道路の交通状況により所定の位置へバスが停車できず危険な状況があり、安全対策が必要では。

市 安全対策を進めます

路面標示等を設置して、バス以外のドライバーへバス停留所であることを周知する。また、信号制御の時間調整など関係機関と調整を行う。バス停留所の移設については、バス事業者の意向を確認する中で関係機関と協議を行い、バス停留所の安全対策を講ずる。(龍見地域振興部長)

他の質問 ● 学校における働き方改革について ● 「子育て世帯の経済状況と生活実態に関する調査結果」について

市民の会

美藤 和広議員



情報 先進技術を取り込んだ情報化計画策定を

議員 8～10月、AIを用いてLINEで市民質問に応じる実証実験をする。先進性は評価するが、人事的・技術的・職員育成など長期的見通しの上に情報化計画を立て、働き方改革を確実に進めるべきでは。

市 新情報化計画を平成31年度目途に策定する

行政サービス向上や事務効率化のため、AIやICTを活用した情報化計画を、県策定の官民データ活用推進計画を踏まえ、平成31年度策定に向け取り組む。実験検証結果を踏まえたAI活用方針等も計画に反映する。(森市長)

他の質問 ● ニュータウン整備と基金の取り扱いについて ● 三田市立図書館のサービスについて ● 三田市地域防災計画と危機管理について



*AI：人工知能
*LINE：無料で音声通話やメッセージ交換ができるサービス。
*官民データ活用推進計画：民間や行政のデータを活用し、行政の効率化、地域課題の解決、住民及び事業者の利便性向上等を図るために、国・県・市が策定する計画。

市民の会

佐々木 智文議員



福祉 失語症者に対するコミュニケーション支援を

議員 従前からの手話通訳や要約筆記の支援だけでなく、言語障害のある失語症の人に対する有効なコミュニケーション支援ができないか。

市 ニーズの把握に努め、効果的な支援体制等を検討する

失語症者を支援している事業所等の協力を得て、ニーズの把握に努め、市職員自身がノウハウを蓄積し、障害者理解を深める必要があると考える。その上で効果的な支援体制等を検討していく。(森市長)

他の質問 ● オトングラスについて ● テレビが聞けるラジオについて



*失語症：大脳の言語領域が損傷することで起こる障害であり、一度獲得した話す、聞く、読む、書くという言葉を操ることが難しくなる障害。

日本共産党三田市議団

長尾 明憲議員



市民病院 市民病院の大規模化というがその目途は

議員 市は伸びゆく三田でも「大規模化しなければ病院経営も保てない」としているが、神戸市からは「圏域を超えた病床稼働を伴う再編統合は難しい」とも聞く。保証のない話で市民に対して大規模化を掲げてよいのか。

市 安定的に急性期医療を提供するため、検討、調整を進める

現規模では、急性期医療を支える医師確保面や診療報酬、医療制度改革などの厳しい環境の変化に対し、極めて不安定な状況であり、将来安定的に「地域中核の急性期医療」を提供し続けることに限界があると判断しており、様々な検討・調整を進めている。(米田市参事・病院副院長)

他の質問 ● 障害を持つ人が笑顔で過ごせる三田について



*急性期病院：急性疾患または重症患者の治療を24時間体制で行う病院のことで、病気の進行を止める、病気の回復の目処をつけるまでの間医療を提供します。